

社会福祉法人 比内ふくし会 採用情報 Q & A

令和6年4月1日

社会福祉法人比内ふくし会 法人事務局

社会福祉法人 比内ふくし会

採用情報 Q & A

1. 職員は全体で何名いますか。

全体で223名です。そのうち、男性68名、女性155名が働いています。

女性管理職が多数（57.1%）活躍している職場です。（令和6年4月1日現在）

2. 年間の休日数を教えてください。

年間休日数は108日です。月に9日の休みがあります。なお、休日に関しては、希望休を受け付けし、毎月調整しています。

3. 採用後、年次有給休暇制度を利用できますか。

規程に基づき利用できます。採用時より年次有給休暇が付与され、初めに10日間付与されます。

平成30年1月より、「誕生月休暇」をスタート。全職員が誕生月に1日、休暇を取得します。

（令和5年 取得率 79.2%）

令和6年度から年次有給休暇平均取得日数11日以上を目指し、取り組みを行っています。

（令和5年 平均取得日数 10.4日）

4. その他に休暇制度はありますか。

慶弔休暇、特別休暇制度や、育児・介護休業、子の看護休暇(小学校卒業まで対象)等があり利用されています。

（令和5年度：育児休業取得率 女性実績 100%、育児短時間勤務制度利用 2名、

介護休業制度利用 2名、介護短時間勤務制度利用 1名、参考：令和5年度男性 1名が育児休業取得）

社会福祉法人 比内ふくし会

採用情報 Q & A

5. 通勤手当は、支給されますか。

自家用車利用で、規程に基づき上限13,700円まで支給されます。なお、駐車場は無料です。 ※片道の通勤時間を考慮し、通勤圏内を30km未満としています。

6. 住居手当は、支給されますか。

規程に基づき、上限20,000円まで支給されます。

7. 扶養手当は、ありますか。

規程に基づき支給します。配偶者13,000円、子供一人につき6,000円などがあります。

8. 退職金制度は、ありますか。

規程に基づき支給します。秋田県民間社会事業福利協会（第一種退職給付金・第二種退職一時金）を適用しています。第一種は、本人と事業主が負担金を折半し、第二種は、事業主が全額負担しています。退職時に、第一種・第二種の両方の退職金が、支給されます。

社会福祉法人 比内ふくし会

採用情報 Q & A

9. 賞与は、支給されますか。

基本給×4か月分が支給されます(6月と12月に分けて支給)。ただし、採用後1年未満の者は、在職期間により支給率が異なります。(令和5年度実績)

10. 業務手当は、支給されますか。

規程に基づき、業務に応じて支給します。例えば、介護福祉士業務(夜勤無の場合)14,000円/月、介護支援専門員業務16,000円/月、社会福祉士業務18,000円/月、看護業務(准看護師)19,000円/月、管理栄養士業務16,000円/月、調理業務9,000円/月等、その業務に要する資格の有無や夜勤の有無等によって詳細に決められています。

11. 昇給は、ありますか。

規程に基づき、年1回昇給を行っています。永年勤続表彰者(対象は、15年以上勤務した者)には、特別昇給を実施しています。

12. その他に、手当等がありますか。

職責手当や時間外手当、宿直手当などがあります。その他の手当については、採用後にお知らせいたします。

社会福祉法人 比内ふくし会

採用情報 Q & A

13. 定期健康診断はありますか。

定期健康診断は、年1回全員実施しています。なお、夜勤業務のある職員は、年2回実施しています。また、毎年インフルエンザの予防接種を実施しています。この他にも、ストレスチェックを実施し、メンタルヘルスの不調を未然に防止しています。定期健診後は、産業医に健診結果に基づいた助言を頂いています。

14. 採用後、資格等を取得したい場合は、支援制度はありますか。

費用の助成や、有資格者による勉強会などの支援を行っております。無資格者に対しては、介護職員初任者研修受講支援を行っております。採用後、担当者よりご案内します。
(令和5年度実績 介護福祉士・介護支援専門員への助成4名など)

15. サークル活動などを行っていますか。

現在、3つのサークルが活動し、法人で助成を行っています。「劇団 やまぼうし」、「野球部 ケアワーカーズ」、「比内ふくし会 競走部」があり、気の合う仲間たちと仕事を離れ、活動しています。やりたい事がなければ、作ればいい!!メンバー5人以上が集まれば、新しいサークルを作ることもできます。野球部は、平成30年度大館市の大会に2度出場し、いずれも『準優勝』に輝きました。

社会福祉法人 比内ふくし会

採用情報 Q & A

16. 職員研修を行っていますか。

新規採用者を対象とした初任者研修をはじめ、3年目、5年目、リーダー職・主任、監督者、管理者等、職員の経験や採用年数、取得資格に応じ研修を行い、キャリアアップできる仕組みになっています。内部研修に限らず、外部研修へ積極的に参加しています。

17. 介護職員処遇改善加算を取得していますか。

令和6年度も引き続き、介護職員処遇改善加算（Ⅰ）を取得（月額3万7千円相当）しています。加算分は、基本給や業務手当に増額して支給しています。令和6年6月以降は、新加算（介護職員等処遇改善加算）を取得し、全ての職員に対してこれまで以上の処遇改善（賃金改善）を行うことで、現在理事会で検討を行っています。

介護職員処遇改善加算は、厚生労働省HP（<https://www.mhlw.go.jp>）で確認できます。令和元年10月より、消費税率引き上げに伴う増収分を財源とする「介護職員等特定処遇改善加算」を取得。リーダー的な役割を担う介護職員の賃金の大幅な増額を図る等、その加算額に対応した手当を、該当する職員へ「特定処遇手当」として支給します。令和4年度から新加算の該当事業所職員に対し「介護事業手当」を支給しています。令和6年2月からは「介護職員処遇改善支援補助金」を活用し、「介護事業手当」にプラスし手当を支給しています。

社会福祉法人 比内ふくし会

採用情報 Q & A

18. 新たな取組み等がありますか。

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策（令和3年11月19日閣議決定）」に基づく「介護処遇改善支援補助金」を申請し、対象者に対し令和4年2月より手当を支給しました。

令和4年10月から「介護職員等ベースアップ等支援加算」を取得、手当を支給しています。

「デフレ完全脱却のための総合経済対策（令和5年11月2日閣議決定）」に基づき補助対象となる事業所で「介護職員処遇改善支援補助金」の申請を行い、対象者に対し令和6年2月分より手当を支給しています。

比内ふくし会は、秋田県介護サービス事業所認証評価制度における認証事業所として認定を受けております。職員が安定して長く働ける職場づくりに努め、職員の処遇改善や人材育成等に積極的に取り組んでいきます。
(更新日 令和4年3月22日)

職員の健康増進について積極的に取り組んでいくため、協会けんぽ秋田支部に、「健康経営」宣言をエントリーし、認定されました。(令和元年9月4日付)。

【実施内容】 ○健康診断の実施 ○検査・治療の推奨 ○保健指導を受けられるよう日程調整 ○敷地内禁煙を実施

社会福祉法人 比内ふくし会

採用情報 Q & A

19. その他

本法人は、厚生労働省の「くるみん認定企業」、秋田県の「男女イキイキ職場宣言事業所」・「受動喫煙防止宣言施設」・「脱少子化モデル企業」「秋田県介護サービス事業所認証評価認定事業所」、大館市の「働くパパママ応援企業認定事業所」など様々な認定を受けており、子育て世代に優しい雇用環境等を継続的に整備しています。

平成29年12月に「障害者雇用優良事業所」として秋田県知事表彰を受賞しました。

「特別養護老人ホームやまぼうし」では、令和3年2月24日に優良民間社会福祉事業施設として天皇陛下から「御下賜金」を賜りました。また、同施設では令和3年3月12日に、秋田県バリアフリー推進賞（施設部門）を受賞しています。

職員の交流を兼ねて法人全体で親睦会を開催(春・冬)しています。また、結婚祝金、出産祝金、入学祝金や傷病見舞金の支給、表彰規程やセクハラ・パワハラ防止のための相談窓口の設置など、職員一人一人を大切にしています。

高齢期になっても長く勤めることができるよう、定年制を延長（60歳定年→65歳定年）しました。

（令和5年度より実施し、現在段階的に定年制を引き上げしています）

令和6年度より仕事と治療の両立として「治療休暇等規程」の整備に向け、現在準備を進めています。

社会福祉法人 比内ふくし会

採用情報 Q & A

19. その他

秋田県民間社会事業福利協会・福利厚生センター（ソウェルクラブ）に加入し、秋田県内をはじめ、全国の飲食店やレジャー施設等の割引優待、資格取得者や永年勤続者へ記念品贈呈など、法人が全額経費を負担し、多種多様な職員のニーズに応じた福利厚生の充実を図っています。

「大館市奨学金返還助成制度」のパートナー企業として登録されました。当法人へ採用（就職）した方で、助成制度の利用対象者である場合、奨学金の返還を支援いたします。

※「大館市奨学金返還助成制度」とは、将来を担う若者の地元への定住促進と人材確保の為、高校や大学などを卒業し、働きながら奨学金を返還する方を助成する制度です。

（大館市登録日 令和2年1月21日 令和5年度対象者 1名）

見守り介護ロボットを導入（特養・グループホーム等）し、介護者の負担軽減や入居者へのサービスの質の向上を図っています。同時にICT化も進め、職員の業務効率の向上を図っています。

今後も、「サービスの質の向上」に向けた取り組みや「人財育成・働きやすい職場づくり」に向けた取り組みを、職員提案のもと推進してまいります。

比内ふくし会は、今後も『ワーク・ライフ・バランス』の実現を目指してまいります。